

座禅を体験「喝」

市国際交流協会（伊藤源茂^{もとしげ}会長）が、毎年実施しているオーストラリアへの海外派遣事業で、現地で日本の中学生の受け入れをしているホストファミリー 10人が日本を訪れ、4月6日から11日までの5日間、市内に滞在しました。

8日には、山岡町の林昌寺に訪れ、同寺の住職宮地直樹^{じきじゅ}さんの指導の下、座禅を体験しました。その後、一行は中学校訪問や恵那峡、中山道広重美術館など見学しました。



▲真剣に座禅に取り組むホストファミリーの皆さん

安全・安心な通学を願って

4月11日、市交通安全女性連絡協議会（各務茂美^{かかみ しげ み}会長）が児童の安全・安心な通学を願って交通安全祈願だるまを寄贈しました。この日、大井小学校では寄贈式が行われ、各務会長から「お父さんやお母さんを悲しませないために交通ルールを守ってください」とだるまを手渡し、受け取った高橋健太くん（6年）は「1年間、交通ルールを守り安全に登校します」と、誓いの言葉を述べました。だるまは市内全小学校へ届けられ、児童の安全を見守ります。



▲安全な登校を願って児童にだるまを手渡す各務会長

地域住民と協力、安全なまちへ



▲辞令を受け取る消防団員

4月6日、まきがね公園体育館で平成20年度市消防団入退団式が行われ、消防団員ら約800人が出席しました。この日は、128人の退団者の紹介と82人の新入団員への辞令交付があり、本年度は女性消防隊を含め、総勢1,265人の体制となります。

式典で可知市長は「消防団員としての誇りを持ち、地域の防災リーダーとなってほしい」とあいさつを述べ、伊藤春正消防団長は「地域住民と協力し、安心・安全なまちにしていきたい」と抱負を述べました。

スケート場夏季シーズン到来



▲「クリス」とインラインスケートを楽しむ子どもたち

4月6日、岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場の夏季営業が始まりました。この日は、県インラインスケート協会指導によるインラインスケートの無料教室が開催され、市内外から多くの方が参加しました。また場内中央では、第4回クリスタルカップフットサル大会（少年の部）が開催され、東濃地域から8チームが参加して熱戦を展開。優勝は、瑞浪スパローズAチームが輝き、市内から参加したFC恵那Aチームは惜しくも準優勝となりました。

ホタルの飛び交うまちを願う

3月30日、長島小学校と恵那北小学校ピオトップ、長島町の主要河川など6カ所でホタルの幼虫放流が行われました。これは、長島町まちづくり委員会環境部会が「ホタルの飛び交うまち」を目指し、ホタルの幼虫を飼育して放流している事業。今回は、各小学校の児童とその保護者、地域住民ら約100人が参加しました。幼虫は、6月下旬には成虫として飛び交う姿が見られる予定で、参加者は「元気に育ってね」と願いを込めて放流しました。



▲河川へ優しく幼虫を放流する児童たち

中野方コミュニティが完成

公民館と振興事務所が併設する中野方コミュニティセンターが完成し、4月4日、しゅん工式が行われ地元関係者ら約120人が出席しました。式典で可知市長は「地域の皆さままで使っていただき、地域振興、地域文化・福祉、生涯学習などの拠点施設として活用してほしい」と述べました。

式典後の地域主催の祝賀会では、めれたばやし保存会、中野方音頭保存会、中野方小学校6年生児童による地元の伝統芸能が披露されました。



▲中野方小学校6年生児童による「杵振おどり」

藤へき地保育園ありがとう



▲元気よく歌う園児たち

市立藤へき地保育園は、本年度からの武並保育園との統合により昨年度をもって閉園となり、3月27日、同保育園で閉園式が行われました。この日は地元関係者や園児ら約60人が出席し、式典で可知市長は「新しい保育園でも、楽しい思い出をたくさん作ってほしい」とあいさつをしました。

最後に同保育園児14人による合唱が披露され、園児たちは「ありがとう」の気持ちを込め、力いっぱい元気よく歌いました。

土びな展示にもちつき



▲つきたてのもちをおいしそうに味わう観光客の方々

3月30日、大正口マン館上の旧三宅家で、ひな祭りのイベントとしてもちつき大会が行われました。大正村では開村以来、ひなまつりの時期に各家庭から寄せられた、農村地の節句の主役である「土びな」を展示しており、今年も1,500体が明智文化センターで飾られました。これに合わせ、地元産のもち米でつきたてのもちを味わってもらおうと、今回初めてもちつき大会を開催。当日は、地元の親子連れや多くの観光客でにぎわいました。

中山道広重美術館 企画展覧会

■会期
4/10(木)～6/15(日)

前期: 4/10(木)～5/11(日)
後期: 5/13(火)～6/15(日)
各期展示替えを行います

■開館時間 午前9時半
～午後5時(入館は午後4時半まで)

■観覧料 ▷大人=800円
(団体650円) ▷小・中・高校生=500円(団体400円)
毎週月曜日(祝日を除く)
祝日の翌日(土日・祝日を除く)
休館。

■問い合わせ 中山道広重美術館 ☎20-0522

「江戸情緒 — 名所江戸百景」



歌川広重
「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」

大判錦絵 吉村コレクション
1857(安政4)年9月

「名所江戸百景」は、歌川広重の最晩年の大作。そのシリーズ中の1枚である「大はしあたけの夕立」は、ゴッホに模写されたことでも知られます。突然の夕立に、橋の上の人々は雨を避けるようにして急いでいます。

本展では、展覧会で感じた印象や思いを俳句にまとめるイベント「江戸百で五・七・五」を行っています。参加者には美術館招待券を、また最優秀作品に選ばれた方には、当館ミュージアムグッズをプレゼントします。名画との出会いを形に残してみませんか。

第1日曜日は「市民の日」

毎月第1日曜日を「市民の日」とし、観覧料を無料とします。気軽に美術の世界に触れていただき、美術を中心とする文化活動やまちづくり活動の拠点に活用いただけるよう願っています。

修理現場から

文化力
POWER OF CULTURE

国重要文化財武並神社本殿 修理の現場を公開

大井町の国道19号沿いにある国の重要文化財、武並神社本殿は、1900(明治33)年以来となる大規模修理を昨年度から平成22年度までの4カ年計画で行っています。

今回、本殿が完全に分解される前に、修理現場の一般公開を行います。めったに見る機会のない文化財の修理現場を見学に来ませんか。

□とき 平成20年5月18日(日)午後1時～4時

□ところ 武並神社本殿修理現場(大井町1101番地)

□内容 本殿修理現場の公開と工事概要の説明(午後2時～、3時～各約30分間。各回先着20人程度)。公開時間内は随時ご覧いただけますが、ヘルメットの数に限りがありますので、お待ちいただくことがあります。

□その他 駐車場があまり広くありませんので、乗り合わせてお出掛けください。

□問い合わせ 文化課文化財保護係 ☎43-2112(内線217)



◀工事用の覆屋の中で修理が進められる



◀檜皮を取り除いた状態の屋根

奥矢作湖で満開の桜楽しむ

4月13日、串原大野公園で恒例の「奥矢作さくらまつり」が行われました。

この日は晴天にも恵まれ、桜も満開で最高のお花見日和となり、約300人の観衆が桜とカラオケを楽しみました。歌謡ショーでは、恵那市観光大使の嶺陽子さん、昨年度開催した「くしはら応援歌ささゆりの里全国歌合戦」で準優勝された恵那市在住の鈴木侑子さんが熱唱したほか、串原翔舞による鳴子踊りの披露が行われ観客を魅了しました。



▲歌謡ショーで盛り上がるイベント会場

岩村重伝建シンポ

岩村町本通り重要伝統的建造物群保存地区の選定10周年を記念したシンポジウムが、4月13日、岩村公民館で開催されました。映画作家で有名な大林宣彦監督は「私の目に映る岩村町本通り伝健地区」をテーマに、自分が感じた「まち」や「人」の印象を交え地域の文化を伝えていく大切さを、金沢工業大学の後藤正美教授は木造建築の耐震性を、それぞれ講演しました。参加した約200人は、ふるさとの文化、木と土と紙の家の良さを再発見しました。



▲大林宣彦監督の記念講演

春を告げる地歌舞伎公演



▲熱演を繰り広げる保存会の役者たち

4月12日、飯地町の歌舞伎小屋「五毛座」で第24回飯地五毛座地歌舞伎公演が開催されました。この日は、大井町の「弥生会」による舞踊や大井文楽保存会による「伊達娘恋緋鹿子火の見櫓の段」のほか、飯地町の「飯地こぶしの会」による舞踊、中学生による「寿 式三番叟」、保存会による「絵本太功記十段目 尼ヶ崎閑居の場」、「源平 魁 躑躅 扇屋熊谷」を上演。会場では役者に観客から声援とおひねりが投げ入れられ、飯地の春の訪れを楽しみました。

愛車で交通安全呼び掛ける



▲交通安全を呼び掛けながらパレードするクラシックカー

4月13日、大正村で「第13回クラシックカーで大正村を走ろう」が開催され、市内外から生産後20年以上経過したクラシックカー約80台が参加しました。この催しは、クラシックカーを持っている方を集め、交通安全を呼び掛けると同時に大正村をPRしようと、クラシックカーで大正村を走ろう会(梅村行夫会長)を立ち上げ、春の交通安全期間に合わせて毎年行われています。この日は、満開の桜が咲き誇る中、大正村をパレードしました。